

2017年12月19日
株式会社 リクルート キャリア

リクルートキャリアとMatcherが業務提携 史上最大級の『OBOG訪問イベント』を東京ビッグサイトで開催 ～所属大学に関係なく誰でも自由に会える“オープンなOBOG訪問”の実現に向けて～

就活準備・就職情報サイト『リクナビ』を運営する株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林大三）は、OBOG訪問のソーシャルマッチングサービス『Matcher』を運営するMatcher株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：西川晃平）と業務提携し、学生3,000名が社会人170名に会って話ができる業界史上最大級（当社調べ）の「OBOG訪問イベント」を開催します。本日より、リクナビ2019で、「OBOG訪問イベント」の応募受付を開始しました。

OBOG訪問イベント開催の背景・目的

所属大学以外のOBOGと話したいと感じている学生は2人に1人*1、リクナビ×Matcherで社会人に会える機会を創出

2018年卒業予定の就活生を対象とした調査では、「所属大学や住んでいる地域に志望業界のOBOGがない」等の環境を要因として、OBOG訪問*2を行えていない実態が明らかになっています。

そこでリクナビは、2016年2月のサービス開始からのべ50,000件以上のOBOG訪問の機会を提供してきた『Matcher』と協働し、2019年卒の学生向けに3,000人規模のOBOG訪問イベントを開催することとしました。学生集客やイベント運営などに強みを持つリクナビと、さまざまな業界のOBOGとの接点を持つMatcherがタッグを組むことで、一人でも多くの学生に「所属大学や住んでいる地域など身の回りの環境に関係なく、自由にOBOG訪問を行える機会」を提供し、これまで所属大学の卒業生を訪問することが一般的であったOBOG訪問の『オープン化』を目指します。

これにより、学生が多様な業界・企業の社会人と話せる機会が増え、業界・企業理解に留まらず、働くことのやりがいや苦労などを知るきっかけとなり、学生にとって納得度の高い就職と入社後にいきいきと働くことが実現できると考えています。

*1) 出典：株式会社リクルートキャリア 2017年2月OBOG訪問イベント来場者（2018年卒業予定者）アンケート（n=128）

*2) OBOG訪問 … 一般的には、学生が所属大学の卒業生（OBOG）を訪問し、企業情報や個人の働き方などについて話を聞くこと。企業情報に留まらず、仕事のやりがい、苦労話などリアルなワーキングスタイルを知るために有効な方法の一つとなっている。

イベントの特徴

(1) 所属大学に関係なく、気になる社会人に自由に話を聞くことができる

多くの場合、OBOG訪問は所属大学の先輩に連絡をして行いますが、本イベントでは所属大学に関係なく、さまざまな大学のOBOGに話を聞くことができます。

(2) 一度に複数のOBOGと話することができる

日程調整や移動にかかる時間・費用を節約でき、効率的に複数のOBOGから話を聞くことができます。

(3) 就職活動を経験し、実際に社会で働くOBOGから“リアルな情報”を得ることができる

OBOGは実際に就職活動を行ってきたので、自身の経験をもとにしたリアルなアドバイスをもらうことができます。

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
TEL：03-3211-7117 Mail：kouho@waku-2.com

イベントの概要

イベント名称：まるっとOBOG訪問

実施内容：学生が興味のある社会人の席に訪問し、社会人1名と学生複数名が円座になって話します。3時間で計3名の社会人にOBOG訪問できます。

開催場所：東京ビッグサイト（東京国際展示場）

応募受付期間：2017年12月19日（火）から開始

URL：https://job.rikunabi.com/2019/media/visit_obog/

〈第1回〉

開催日：2018年2月11日（日）

参加予定人数：学生300名、社会人20名程度

〈第2回〉

開催日：2018年3月10日（土）

参加予定人数：学生2,700名、社会人150名程度



リクルートキャリアについて

リクルートキャリアは、私たちが目指したい未来"Our Vision"として、「ひとりでも多くの人たちが『働く喜び』を膨らませ、『働く喜び』の輪が、新たな活力を生み出している社会を創りたい」と掲げ、就職準備および就職情報サイト「リクナビ」や社会人のための転職情報サイト「リクナビNEXT」などのメディア事業、キャリアアドバイザーが転職活動をサポートする転職エージェントサービス「リクルートエージェント」による人材紹介事業、適性検査「SPI」などの選考支援事業をはじめとした、さまざまな事業・サービスの進化に日々努めています。

なかでも「リクナビ」は、1962年に発刊した「企業への招待」（後の「リクルートブック」）という就職情報誌を源流とし、インターネットが普及し始めた1996年に「RB on the NET」として産声をあげました。冊子からウェブサイトへと形が変わり、2016年にはナビサイトとして20周年を迎えましたが、企業と学生間のコミュニケーションを十分に成立させたいという想いは変わっていません。また、進化する技術を駆使し、より快適で学生に寄り添ったサイトに進化させるべく、日々努力を続けています。

<https://www.recruitcareer.co.jp/>